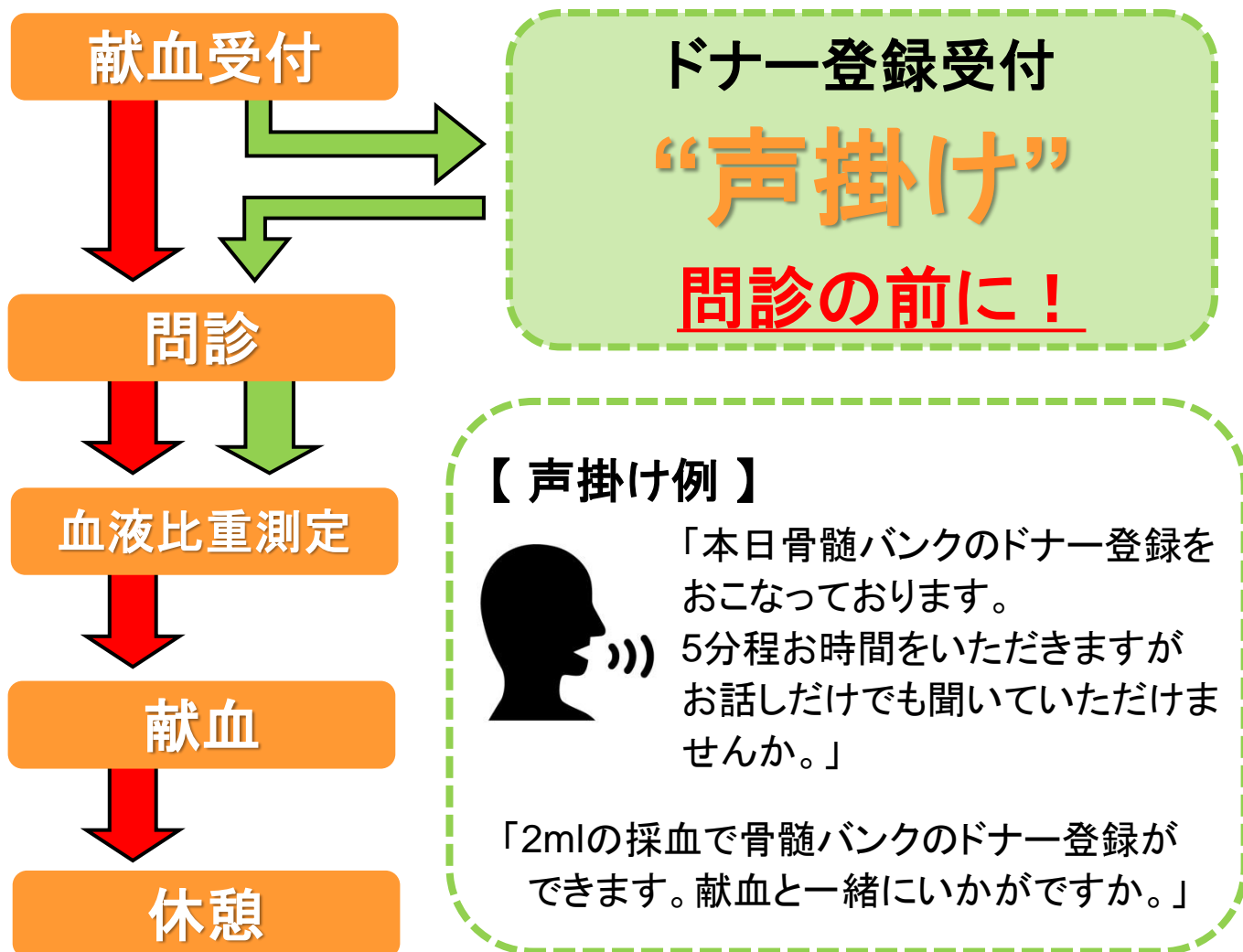

ドナー登録案内マニュアル 【短縮版】

ドナー登録案内マニュアル【短縮版】は、ドナー登録会説明員マニュアル第7版(2023年12月発行)の短縮版です。本マニュアルに沿って5分程度でドナー登録をご説明願います。

献血併行声掛けのタイミング

➡ 献血の流れ ➡ ドナー登録の流れ



声かけのタイミングは献血の問診前がベストです

【理由は...】

- 登録申込書に採血指示医師の署名、又は押印の必要があるためです
- 問診後に説明を行った場合は、再度問診を行う必要があります
- 血液比重測定後では、針を再度刺す必要があります

※問診前にどのタイミングで声掛けするかは、各会場のレイアウト等により変わるため、各会場の日赤担当者にご相談ください

献血のみの方は、速やかに献血の動線にご案内しましょう

◎ 献血会場では、献血者や日赤スタッフに不安や不信感を与えることがないように、言葉遣いや態度、服装などに注意してください

ドナー登録の必要性

①



説明員の〇〇と申します。
本日はお時間いただきありがとうございます。
骨髄バンクドナー登録について、5分程でご説明します。

②



骨髄バンクは白血病等の血液疾患の患者さんを救済しています。

③



治療方法の1つとして、健康な方から血液を造る細胞（造血幹細胞）を提供していただき、患者さんへ移植する方法があります。

④



移植を希望している患者さんは多く、白血球の型（HLA型）の一致が移植成功の鍵となります。
しかし、非血縁者間で一致するのは、数百から数万分の一という非常に低い確率となっており、実際に移植を受けられる患者さんは、6割未満にとどまっています。

⑤



移植を待つ患者さんを救うために、骨髄バンクは一人でも多くのドナーさんを必要としています。

解説グラビア

骨髄バンク ドナー登録希望の方へ

ドナー登録の要件

- 骨髄・末梢血幹細胞の提供の内容を十分に理解している方
- 年齢が18歳以上、54歳以下で、(健康状態が良好な方)
- 体重が男性45kg以上・女性40kg以上の方
- 骨髄・末梢血幹細胞を提供できる年齢は20歳以上、55歳以下です。
- 骨髄バンクドナー登録の申し込み時に必ず同意書をご記入ください。
- ドナー登録後の健康状態によっては、コーディネーターを定めることができないこともあります。
- 骨髄・末梢血幹細胞の提供にあたっては承諾の同意が必要で、登録の手続きを受けたことのある方は登録提供はできません。

以下に示された既往症、健康状態に当てはまる方は、ドナー登録をご遠慮ください
(以下は国内業務標準による登録の可否の目安となります)

- 骨髄腫や中核性白血病等の悪性腫瘍(骨髄腫、たばこ癌、肺癌に対する放射線等の照射や化学療法による治療の副作用、骨髄腫等による骨髄腫、遠隔転移の恐れがあります)
- 悪性腫瘍(がん)、膠原病(慢性関節リウマチなど)、自己免疫疾患、先天性疾患、心臓疾患、臓器移植、脳卒中等の既往がある方(再発している場合は含みません)
- 悪性高血圧の発症し、本人または家族に発症がある方
- 最高血圧が151以上または89以下の方、最低血圧が91以上の方
- 輸血を受けたことがある方、献血の方、血液の病気の方
- ウイルス肝炎、エイズ、梅毒、マフィアなどの感染症の病気の方
- 免疫抑制剤や抗がん剤等の治療を受けたことがある方や、高度の発疹の既往がある方
- 適度の肥満の方(体重kg×身長m-身長m²が30以上の方)
- 妊娠中および出産後1年未満の方

日本骨髄バンク/厚生労働省
2021年4月発行


■説明を開始するに当たり、まずドナー登録がなぜ必要なのかを説明することが重要です(グラビア裏面に記載)

■忙しい合間に来ていただいている方も多いため、説明は全体で**5分程度を目安**に行ってください

ドナー登録の要件

骨髄バンク
ドナー登録希望の方へ

解説グラビア



ドナー登録の要件

- 骨髄・末梢血幹細胞の提供の内容を十分に理解している方
- 年齢が18歳以上、54歳以下で、**健康状態が良好な方**
- 体重が男性45kg以上・女性40kg以上の方

・骨髄・末梢血幹細胞を提供できる年齢は20歳以上、65歳以下です。
・骨髄バンクドナー登録のしおり「チャンス」をよくお読みください。
・ドナー登録後の健康状態によっては、コーディネートを進めることができないこともあります。
・骨髄・末梢血幹細胞の提供にあたっては家族の同意が必要です。

以下に示された既往症、健康状態にあてはまる方は、ドナー登録をご遠慮ください
(以下は例として記載するに過ぎず、必ずしも該当するものではありません)

- 癌(悪性腫瘍)または癌治療中の方(慢性疾患等による治療、たとえば高血圧に対する降圧剤等の服用や腎臓などその治療中の場合、精神疾患等による投薬・通院の場合も含まれます)
- 悪性腫瘍(がん)、膠原病(慢性関節リウマチなど)、自己免疫疾患、先天性心疾患、心筋梗塞、狭心症、脳卒中などの病歴がある方(※治療している場合も含まれます)
- 悪性高血圧の場合は、本人またはご家族に病歴がある方
- 最高血圧が151以上または101以下の方、最低血圧が101以上の方
- 輸血を受けたことがある方、貧血の方、血液の病気の方
- ウイルス性肝炎、エイズ、梅毒、マラリアなどの感染症の病気の方
- 食毒や薬等により呼吸困難などの症状が出たことがある方や、高度の腎臓の病歴がある方
- 過度の肥満の方(体重kg÷身長m×身長mが30以上の方)
- 妊娠中および出産後1年未満の方

2021年4月発行

以下9項目

ドナー登録の要件は、年齢が18歳以上54歳以下。
体重は男性45kg以上、女性40kg以上で、健康状態が良好な方です。



その他、以下の9項目について、現在の健康状態や病気の既往歴等、該当がないかご確認ください。

- 該当する項目があると登録できませんので、必ずご確認ください
- 一つ一つ読み上げる必要はありません。該当するものがないか、ドナー登録希望者ご自身で確認していただきます

【該当する項目があった場合】

- ドナーさんの健康を考慮し、登録できない旨を丁寧に伝えてください

ドナー登録から骨髄・末梢血幹細胞の提供までの流れ

ドナー登録から骨髄・末梢血幹細胞の提供までの流れ



骨髄提供の場合

(通常、3泊4日程度入院)



■骨髄提供に伴い起こりうる合併症

痛み	採取傷が痛むことがあるが、痛みには個人差がある。 (1〜7日間残ったという例が多く、まれに1か月以上残った例もある)
諸症状	採取後の発熱、のどの痛み、吐き気、倦怠感(1〜2日で回復)
採取後	少し針のあとが残る場合もある(通常3〜6か月で消える)

※提供方法は、最終的に患者さん側が選択します。ただし、ドナーの希望しない方法で提供することはありません。
※提供に関して、入院費用や交通費などドナーの費用負担はありません。

末梢血幹細胞提供の場合

(通常、注射の期間を含めて4泊5日〜6泊7日程度入院)



■末梢血幹細胞提供に伴い起こりうる合併症

注射による諸症状	骨痛(腰痛、関節痛等)、倦怠感、頭痛、不眠、食欲不振、悪心・嘔吐、動悸、発疹(痛みは鎮痛剤で消失)
採取中の諸症状	抗凝固剤の投与による手足のしびれ、口の周りのしびれ(カルシウム剤投与で改善)
採取後	血小板の減少、採取部が青くなる場合がある(1〜3週間消失)



解説グラビア(2021年4月発行版)の中面を使って説明します

■イラストを指し示しながら、一つずつ説明します

採血で登録

ドナー登録から骨髄・末梢血幹細胞の提供までの流れ

採血で登録



HLA検査用の血液を腕から採取してドナー登録が完了

通知



あなたとHLAが適合すると、提供意思を確認する書類が届く
※登録後、早い段階で適合することも少なくありません。

確認検査



コーディネーターからの説明と医師の問診



提供意思が変わりなければ、健康状態などを調べるための採血

最終同意



ドナーに選ばれると、ご家族を交えて最終同意書にサイン
※その後は同意を撤回することはできません。

健康診断



提供約1カ月前に採取病院で詳しい健康診断をして安全な採取に備える

骨髄提供の場合



1

自己血採血
骨髄採取中の貧血を軽減するため採取1～3週間前に血液を通常100～800mL採り保存



3

全身麻酔
手術室で全身麻酔になり、気管内挿管による全身麻酔

■骨髄提供に伴い起こりうる合併症

痛み	採取傷が痛むことがあるが、痛み(1～7日間続いたという例が多)
腫症状	採取後の発熱、のどの痛み、吐
採取後	少し針のあとが残る場合もある

※提供方法は、最終的に患者さん側が選択します。
※提供に関して、入院費用や交通費などドナーの費用負担はありません。



、注射の期間を含めて4泊5日～6泊7日程度入院)



入院

注射を通院で行う場合も通常1～2日の入院をし、健康チェックと説明を受ける



末梢血幹細胞採取

約3～4時間かけて造血幹細胞を採取する。採取した細胞数が不十分な場合は、翌日2回目の採取を行う

胸痛、不眠、食欲不振、悪心・嘔吐、
口の周りのしびれ(カルシウム剤投与で改善)
がある(1～3週間で消失)



ドナー登録から提供までの流れをご紹介します。
登録は登録用紙を記入し、腕から約2mlの採血で完了します。

- 登録に必要なのは、①登録用紙の記入、②少量の採血、のみです
- 混雑していなければ、15分程で登録は完了します

通知

ドナー登録から骨髄・末梢血幹細胞の提供までの流れ



骨髄提供の場合



自己血採血
骨髄採取中の真血を軽減するため採血1〜3週間前に血液を通常400〜800mL採血・保存



全身麻酔
手術室で仰向けになり、気管内挿管による全身麻酔

■骨髄提供に伴い起こりうる合併症

痛み	採取傷が痛むことがあるが、痛み(1〜7日間残ったという例)がほとんどない
諸症状	採取後の発熱、のどの痛み、吐き気
採取後	少し針のあとが残る場合もある

※提供方法は、最終的に患者さん側が選択します。また、骨髄提供に関して、入院費用や交通費などドナーの費用はかかりません。



末梢血幹細胞採取



約3〜4時間かけて造血幹細胞を採取する。採取した細胞数が不十分な場合は、翌日2回目の採取を行う



注射を病院で行う場合も通常1〜2日の入院をし、健康チェックと説明を受ける

痛み、不眠、食欲不振、悪心・嘔吐、
採血部位のしびれ(カルシウム剤投与で改善)
採血部位の腫れ(1〜3週間消失)



患者さんの白血球の型と適合すると、骨髄バンクから提供の意思を確認する「適合通知」が郵送とSMS(登録携帯番号へのショートメッセージ)が届きます。適合通知がいつ届くかは分かりませんが、登録後、すぐに届くこともあります。届いた際には、提供の可否を速やかにWEBまたは書類にご返信ください。

- 適合通知が届くのは登録者全員の4割程度です
- ドナー登録していても、最終的に提供するかしないかは、登録者の自由な意思に任せられます

確認検査

ドナー登録から骨髄・末梢血幹細胞の提供までの流れ



提供が可能であるにご回答いただいた場合、後日「確認検査」があります。コーディネーターによる詳しい説明、医師により健康状態を確認するための問診・採血を行います。

■確認検査は、ドナーの居住地に近い認定施設(医療機関)で実施します

■説明後、確認検査の採血に同意すると、調整医師が問診・採血検査を行います(採血は約30ml)

最終同意

ドナー登録から骨髄・末梢血幹細胞の提供までの流れ



骨髄提供の場合 (通常、3泊4日程度入院)

1 自己血採血
骨髄採取中の痛みを軽減するため採血1〜3週間前、血液を通常400〜800ml採血・保存

2 全身麻酔
手術室で仰向けになり、気管挿管による全身麻酔

3 骨髄提供に伴い起こりうる合併症

痛み	採取傷が痛むことがあるが、病後(1〜7日間残ったという例がほとんど)
諸症状	採取後の発熱、のどの痛み、吐き気
採取後	少し針のあとが残る場合もある

末梢血幹細胞提供の場合 (通常、注射の期間を含めて4泊5日〜6泊7日程度入院)

1 採血
採血を繰り返すことで全身血幹細胞を増やす(入院)

2 入院
注射を病院で行う場合も通常1〜2日の入院をし、健康チェックと説明を受ける

3 麻酔
採血時に麻酔薬を点滴し、痛みを軽減する

4 末梢血幹細胞採取
約3〜4時間かけて造血幹細胞を採取する。採取した細胞数が不十分な場合は、翌日2回目の採取を行う

合併症

- 倦怠感、頭痛、胸痛、不眠、食欲不振、悪心・嘔吐、発熱(通常で消失)
- 足のしびれ、口の周りのしびれ(カルシウム剤投与で改善)
- 費くなる場合がある(1〜3週間程度消失)



ドナーに選ばれると最終同意が必要です。ドナーさんのご家族を交えて「最終同意書」にサイン・捺印をいただきます。

最終同意確認後、患者側は移植の準備を進めます。そのため、最終同意確認後にドナーが同意を撤回すると、患者が適切な治療を受けられなくなる場合があります。最終同意には、とても重要な意味があることをご理解ください

■ドナー自身が提供を望まれても、ご家族の同意がなければ提供はできません

※重要な手続きですので、丁寧に説明してください

健康診断

ドナー登録から骨髄・末梢血幹細胞の提供までの流れ

採血で登録



HLA検査用の血液を腕から採取してドナー登録は完了

通知



患者さんとHLAが適合すると、提供意思を確認する書類が届く
※登録後、早い段階で適合することも稀しくありません。

確認検査



コーディネーターからの説明と医師の問診



提供意思が変わりなければ、健康状態などを調べるための採血

最終同意



ドナーに選ばれると、ご家族を交えて最終同意書にサイン
※その後は取り戻すことはできません。

健康診断



提供約1カ月前に採取病院で詳しい健康診断をして安全に採取が保たれる

骨髄提供の場合

(通常、3泊4日程度入院)



1 自己血採血
骨髄採取中の貧血を軽減するため採取1〜3週間前に血液を通常400〜800mL採血・保存



3 全身麻酔
手術室で仰向けになり、気管内挿管による全身麻酔

■骨髄提供に伴い起こりうる合併症

痛み	採取傷が痛むことがあるが、痛みには個人差（1〜7日間残ったという例が多く、まれに1〜2週間残ったという例もある）
諸症状	採取後の発熱、のどの痛み、吐き気、倦怠感
採取後	少し針のあとが残る場合もある（通常3〜6週間消失）

※提供方法は、最終的に患者さん側が選択します。ただし、ドナー側が提供に同意して、入院費用や交通費などドナーの費用負担はあり

末梢血幹細胞提供の場合

(通常、注射の期間を含めて4〜6泊7日程度入院)



2 入院
注射を病院で行う場合も通常1〜2日の入院をし、健康チェックと説明を受ける



4 末梢血幹細胞採取
約3〜4時間かけて造血幹細胞を採取する。採取した細胞数が不十分な場合は、翌日2回目の採取を行う

副作用	腰痛、胸痛、不眠、食欲不振、悪心・嘔吐、めまい、口回りのしびれ（カルシウム阻害剤で改善）
その他	まれにアレルギー反応（皮膚発疹）がある（1〜3週間消失）



提供1カ月前にドナーさんが安全に採取が行えるよう、詳しい健康診断を行います。
検査結果に問題がなければ、提供に進みます。

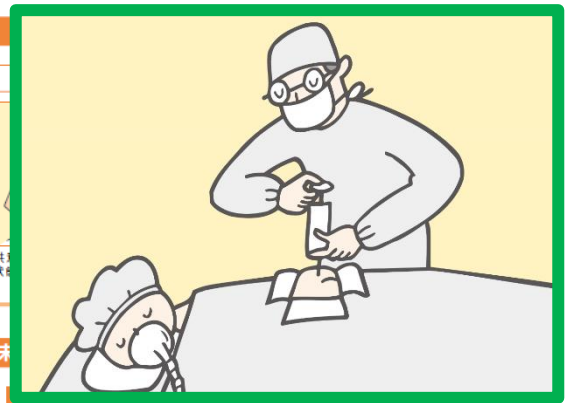
- 提供の4〜6週間前に、入院・採取を行う病院で担当医師による健康診断を行います
- ドナーの健康状態により何らかのリスクが懸念される場合は、最終同意後でも採取施設の判断で採取中止とし、コーディネートを終了する場合があります

骨髄提供の場合(1)



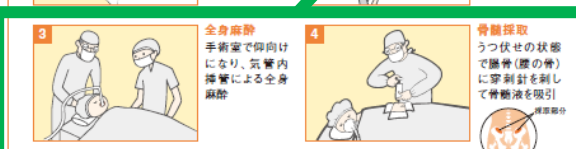
骨髄採取中の貧血を軽減するため採取1~3週間前に血液を通常400~800mL採血・保存

通常採取1~2日前に入院し、健康チェックと説明を受ける



白血球を増やす薬(G-CSF)を毎日注射すると、血液の白血球が増え流れ出す(通常または入院)

注射を病院で行う場合も通常1~2日の入院をし、健康チェックと説明を受ける



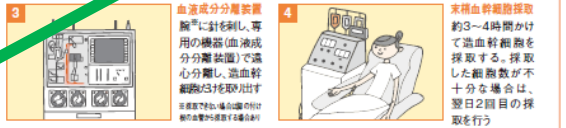
3 全身麻酔
手術室で仰向けになり、気管内挿管による全身麻酔



4 骨髄採取
うつ伏せの状態です。腰(腰の骨)に穿刺針を刺して骨髄液を吸引

■骨髄提供に伴い起こりうる合併症

痛み	採取痛が痛むことがあるが、痛みには個人差がある。(1~7日間残ったという例が多く、まれに1カ月以上残った例もある)
諸症状	採取後の発熱、のどの痛み、吐き気、倦怠感(1~2日で回復)
採取後	少し針のあとが残る場合もある(通常3~6カ月で消える)



3 血液成分分離装置に針を刺し、専用の機器(血液成分分離装置)で遠心分離し、造血幹細胞を採取し出す

4 末梢血幹細胞採取
約3~4時間かけて造血幹細胞を採取する。採取した細胞数が不十分な場合は、翌日2回目の採取を行う

■末梢血幹細胞提供に伴い起こりうる合併症

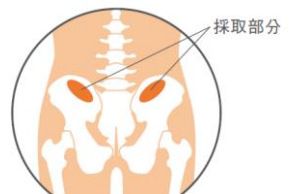
注射による諸症状	骨痛(腰痛、関節痛等)、倦怠感、頭痛、胸痛、不眠、食欲不振、悪心・嘔吐、動悸、発疹(痛みは鎮痛剤で消失)
採取中の諸症状	抗凝固剤の投与による手足のしびれ、口の周りのしびれ(カルシウム剤投与で改善)
採取後	血小板の減少、採取部が青くなる場合がある(1~3週間で消失)

※提供方法は、最終的に患者さん側が選択します。ただし、ドナーの希望しない方法で提供することはありません。
※提供に関して、入院費用や交通費などドナーの費用負担はありません。



提供の方法は2種類あります。1つは「骨髄提供」です。全身麻酔をかけ、うつ伏せの状態です。腰の大きな骨(腸骨)に針を刺して、骨の中にある骨髄液を採取します。

- 「脊髄」(せきずい)と混同し、背骨に針を刺すと誤解している方もいますが、骨髄液は「腸骨(ちょうこつ)」から採取を行います
- 標準採取時間は2~4時間程度です
- 全身麻酔下で採取するため、痛みは分かりません



骨髓提供の場合(2)

ドナー登録から骨髓・末梢血幹細胞の提供までの流れ



骨髓提供の場合 (通常、3泊4日程度入院)

- 自己血採血**
骨髓採取中の貧血を軽減するため採取1~3週間前に血液を通常400~800mL採血・保存
- 入院**
通常採取1日前に入院し健康チェックと説明を受ける
- 全身麻酔**
手術室で仰向けになり、気管内挿管による全身麻酔
- 骨髓採取**
うつ伏せの状態で腰骨(腰の骨)に穿刺針を刺して骨髓液を採取

■骨髓提供に伴い起こりうる合併症

痛み	採取傷が痛むことがあるが、痛みには個人差がある。(1~7日間残ったという例が多く、まれに1カ月以上残った例もある)
諸症状	採取後の発熱、のどの痛み、吐き気、倦怠感(1~2日で回復)
採取後	少し針のあとが残る場合もある(通常3~6カ月で消える)

末梢血幹細胞提供の場合 (通常、注射の期間を含めて4泊5日~6泊7日程度入院)

- 入院**
注射を病院で行う場合も通常1~2日の入院をし、健康チェックと説明を受ける
- 末梢血幹細胞採取**
約3~4時間かけて造血幹細胞を採取する。採取した細胞数が不十分な場合は、翌日2回目の採取を行う

※提供方法は、最終的に患者さん側が選択します。ただし、ドナーの希望しない方法で提供することはありません。
 ※提供に関して、入院費用や交通費などドナーの費用負担はありません。



骨髓採取に当たって、貧血を防ぐために、予めドナーさんご自身の血液(自己血)を採取しておく場合があります。

■標準採取量は400~800mlで、1~2回に分けて採血します

骨髄提供の場合(3)

ドナー登録から骨髄・末梢血幹細胞の提供までの流れ



■骨髄提供に伴い起こりうる合併症

痛み	採取傷が痛むことがあるが、痛みには個人差がある。 (1〜7日間残ったという例が多く、まれに1カ月以上残った例もある)
諸症状	採取後の発熱、のどの痛み、吐き気、倦怠感(1〜2日で回復)
採取後	少し針のあとが残る場合もある(通常3〜6カ月で消える)



になり、気管内挿管による全身麻酔



で髄骨(腰の骨)に穿刺針を刺して骨髄液を吸引
採取部位



用の機器(血液成分分離装置)で离心分離し、造血幹細胞を採取出す
※血液で稀な造血幹細胞の割合が採出する確率が高い



く造血幹細胞を採取する。採取した細胞数が不十分な場合は、翌日2回目の採取を行う

■骨髄提供に伴い起こりうる合併症

痛み	採取傷が痛むことがあるが、痛みには個人差がある。 (1〜7日間残ったという例が多く、まれに1カ月以上残った例もある)
諸症状	採取後の発熱、のどの痛み、吐き気、倦怠感(1〜2日で回復)
採取後	少し針のあとが残る場合もある(通常3〜6カ月で消える)

■末梢血幹細胞提供に伴い起こりうる合併症

注射による諸症状	骨痛(腰痛、関節痛等)、倦怠感、頭痛、胸痛、不眠、食欲不振、悪心・嘔吐、動悸、発疹(痛みは鎮痛剤で消失)
採取中の諸症状	抗凝固剤の投与による手足のしびれ、口の周りのしびれ(カルシウム剤投与で改善)
採取後	血小板の減少、採取部が青くなる場合がある(1〜3週間消失)

※提供方法は、最終的に患者さん側が選択します。ただし、ドナーの希望しない方法で提供することはありません。

※提供に関して、入院費用や交通費などドナーの費用負担はありません。



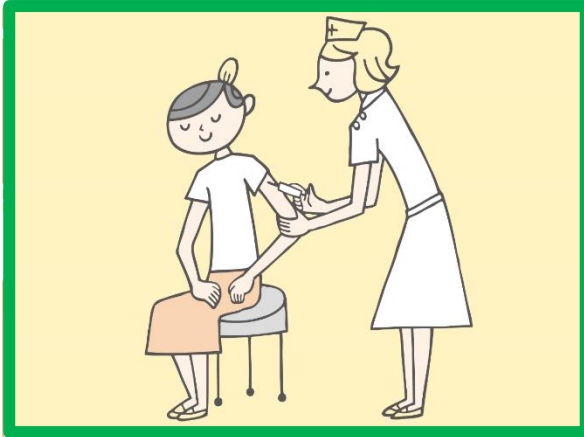
骨髄提供により起こりうる合併症として、麻酔がきれた後、一時的に採取部位が痛む場合や、発熱等の諸症状を生じる場合があります。
痛みの程度には個人差がありますが、鈍い痛みが1〜7日程度続くことが多いと言われています。

■主な痛みの場所

採取部位、のど、お尻辺り、排尿痛、点滴部位

末梢血幹細胞提供の場合(1)

ドナー登録から骨髄・末梢血幹細胞の提供までの流れ



末梢血幹細胞提供の場合 (通常、注射の期間を含めて4泊5日～6泊7日程度入院)



3 全身麻酔
手術室で仰向けになり、気管内挿管による全身麻酔



4 骨髄採取
うつ伏せの状態で腰骨(腰の骨)に穿刺針を刺して骨髄液を吸引
採取部位

■骨髄提供に伴い起こりうる合併症

痛み	採取傷が痛むことがあるが、痛みには個人差がある。 (1～7日間残ったという例が多く、まれに1カ月以上残った例もある)
諸症状	採取後の発熱、のどの痛み、吐き気、倦怠感(1～2日で回復)
採取後	少し針のあとが残る場合もある(通常3～6カ月で消える)

※提供方法は、最終的に患者さん側が選択します。ただし、ドナーの希望しない方法で提供することはありません。
※提供に関して、入院費用や交通費などドナーの費用負担はありません。

■末梢血幹細胞提供に伴い起こりうる合併症

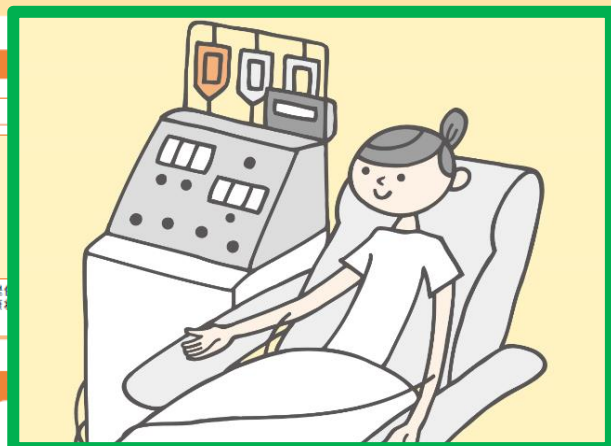
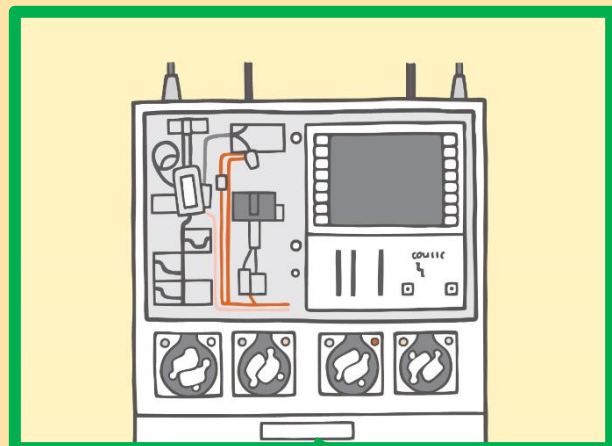
注射による諸症状	骨痛(腰痛、関節痛等)、倦怠感、頭痛、胸痛、不眠、食欲不振、悪心・嘔吐、動悸、発疹(痛みは鎮痛剤で消失)
採取中の諸症状	抗凝固剤の投与による手足のしびれ、口の周りのしびれ(カルシウム剤投与で改善)
採取後	血小板の減少、採取部が青くなる場合がある(1～3週間で消失)



もうひとつの方法は「末梢血幹細胞提供」です。
白血球を増やす薬(G-CSF)を3～4日注射すると白血球が増え、本来骨髄の中にしか存在しない造血幹細胞が、全身の血液に流れ出します。

■入院で行われることが多いです

末梢血幹細胞提供の場合(2)



血を軽減するため採取1~3週間前に血液を通常400~800mL採血・保存

2 全身麻酔
手術室で仰向けになり、気管内挿管による全身麻酔

3 骨髄採取
うつ伏せの状態で腰骨(腰の骨)に穿刺針を刺して骨髄液を吸引

4 骨髄提供に伴い起こりうる合併症

(G-CSF)を毎日注射すると、全身の血液に造血幹細胞が流れ出す(施設または入院)

5 末梢血幹細胞採取
約3~4時間かけて造血幹細胞を採取する。採取した細胞数が不十分な場合は、翌日2回目の採取を行う

■骨髄提供に伴い起こりうる合併症

痛み	採取傷が痛むことがあるが、痛みには個人差がある。(1~7日間残ったという例が多く、まれに1カ月以上残った例もある)
諸症状	採取後の発熱、のどの痛み、吐き気、倦怠感(1~2日で回復)
採取後	少し針のあとが残る場合もある(通常3~6カ月で消える)

■末梢血幹細胞提供に伴い起こりうる合併症

注射による諸症状	骨痛(腰痛、関節痛等)、倦怠感、頭痛、胸痛、不眠、食欲不振、悪心・嘔吐、動悸、発疹(痛みは鎮痛剤で消失)
採取中の諸症状	抗凝固剤の投与による手足のしびれ、口の周りのしびれ(カルシウム剤投与で改善)
採取後	血小板の減少、採取部が青くなる場合がある(1~3週間で消失)

※提供方法は、最終的に患者さん側が選択します。ただし、ドナーの希望しない方法で提供することはありません。
※提供に関して、入院費用や交通費などドナーの費用負担はありません。



血液中に流れ出した細胞は、腕の血管から採血を行い遠心分離装置(血液成分分離装置)を使用して、造血幹細胞のみを採取します。

- 約3~4時間かけて造血幹細胞を採取します
- 採取量が不十分な場合は、翌日2回目の採取を行います
- 成分献血の方法に似ています

末梢血幹細胞提供の場合(3)

ドナー登録から骨髄・末梢血幹細胞の提供までの流れ



■末梢血幹細胞提供に伴い起こりうる合併症

注射による諸症状	骨痛(腰痛、関節痛等)、倦怠感、頭痛、胸痛、不眠、食欲不振、悪心・嘔吐、動悸、発疹(痛みは鎮痛剤で消失)
採取中の諸症状	抗凝固剤の投与による手足のしびれ、口の周りのしびれ(カルシウム剤投与で改善)
採取後	血小板の減少、採取部が青くなる場合がある(1~3週間で消失)



採血による全身麻酔



注射針を刺して骨髄液を吸引



成分分離装置で离心分離し、造血幹細胞を採取出す



採取する。採取した細胞数が不十分な場合は、翌日2回目の採取

■骨髄提供に伴い起こりうる合併症

痛み	採取傷が癒むことがあるが、痛みには個人差がある。(1~7日間残ったという例が多く、まれに1カ月以上残った例もある)
諸症状	採取後の発熱、のどの痛み、吐き気、倦怠感(1~2日で回復)
採取後	少し針のあとが残る場合もある(通常3~6カ月で消える)

■末梢血幹細胞提供に伴い起こりうる合併症

注射による諸症状	骨痛(腰痛、関節痛等)、倦怠感、頭痛、胸痛、不眠、食欲不振、悪心・嘔吐、動悸、発疹(痛みは鎮痛剤で消失)
採取中の諸症状	抗凝固剤の投与による手足のしびれ、口の周りのしびれ(カルシウム剤投与で改善)
採取後	血小板の減少、採取部が青くなる場合がある(1~3週間で消失)

※提供方法は、最終的に患者さん側が選択します。ただし、ドナーの希望しない方法で提供することはありません。
※提供に関して、入院費用や交通費などドナーの費用負担はありません。



注射に伴い起こりうる合併症としては、骨痛(腰痛、関節痛等)、頭痛等があります。多くの場合一過性で、鎮痛剤の処方などが行われます。

■針を刺したところや周りが青くなる場合がありますが、通常は1~3週間で自然に治ります

提供における入院



骨髄提供の場合 (通常、3泊4日程度入院)

- 1 骨髄採取**
骨髄採取の痛みを軽減するため採取1~3日前に血液を通常400~800ml採血・保存
- 2 入院**
通常採取1~2日前に入院し、健康チェックと説明を受ける
- 3 全身麻酔**
手術室で仰向けになり、気管内挿管による全身麻酔
- 4 骨髄採取**
うつ伏せの状態です。腰の骨に穿刺針を刺して骨髄液を吸引

■骨髄提供に伴い起こりうる合併症

痛み	採取傷が痛むことがあるが、痛みには個人差がある。 (1~7日間残ったという例が多く、まれに1か月以上残った例もある)
諸症状	採取後の発熱、のどの痛み、吐き気、倦怠感(1~2日で回復)
採取後	少し針のあとが残る場合もある(通常3~6か月で消える)

※提供方法は、最終的に患者さん側が選択します。ただし、ドナーの希望しない方法で提供することはありません。
※提供に関して、入院費用や交通費などドナーの費用負担はありません。

末梢血幹細胞提供の場合 (通常、注射の期間を含めて4泊5日~6泊7日程度入院)

- 1 末梢血幹細胞採取**
末梢血幹細胞採取装置を用いて採取
- 2 入院**
注射を通院で行う場合も通常1~2日の入院をし、健康チェックと説明を受ける
- 3 血液成分分離装置**
末梢血幹細胞採取装置に針を刺し、専用の機器(血液成分分離装置)で遠心分離し、造血幹細胞を採取し出す
- 4 末梢血幹細胞採取**
約3~4時間かけて造血幹細胞を採取する。採取した細胞数が不十分な場合は、翌日2回目の採取を行う

■末梢血幹細胞提供に伴い起こりうる合併症

注射による諸症状	骨痛(腰痛、関節痛等)、倦怠感、頭痛、胸痛、不眠、食欲不振、悪心・嘔吐、動悸、発疹(痛みは鎮痛剤で消失)
採取中の諸症状	抗凝固剤の投与による手足のしびれ、口の周りのしびれ(カルシウム剤投与で改善)
採取後	血小板の減少、採取部が青くなる場合がある(1~3週間消失)



①提供の際には入院が必要です



②骨髄提供の場合
3泊4日程度です



③末梢血幹細胞提供の場合
5泊6日程度です

■採取後の体調や傷の痛み具合により、入院期間が多少長くなる場合もあります

■末梢血幹細胞提供の場合

注射の際、入院して実施する施設と、通院で実施する施設があります。通院で実施する場合、2~4日間の通院と、1泊2日~3泊4日程度の入院が必要になります。ほとんどの施設が入院して実施しています

説明終了後の対応

①



ドナーの方の費用負担はありません。入通院の際の医療費や交通費も一切かかりません。骨髄バンクからの休業補償はありませんが、企業や団体によっては提供のためのお休みを特別休暇として認める「ドナー休暇制度」があります。また、お住いの自治体によってはドナー助成制度もございます。以上、簡単な説明ではありますが、何かご不明な点やご質問はありますでしょうか。

不明点・質問なし

不明点・質問あり

回答をお願いします。
その場で回答できなければ
当法人へご連絡ください。
(TEL:03-5280-1789)

②



本日、ご登録はいかがいたしますか。

登録希望の場合
“登録手続きに進む”

登録しない場合

感謝の意を伝えて
献血の動線に誘導

ドナー登録手続き

説明を終了

「登録するか少し考えたい」「家族と相談したい」「(登録しないことで)患者さんに申し訳ない」と思う方は少なくありません。そうした心理的負担を考慮して「とりあえずご登録だけ」など安易な登録を勧めないようにしましょう。「過去にドナー登録していたかもしれない」という方には日赤ブロック血液センター(チャンス巻末に連絡先記載)をご案内して、ご本人に登録の有無を確認いただくようにしてください。

ドナー登録手続き①

①チャンス巻末の
骨髄バンクドナー登録申込書
を切り取る。

②表ページの9項目をご確認
いただき、6項目の「登録情報の取
り扱いについて」を紹介し、【はい】
or【いいえ】にチェック。

「iPS細胞」について聞いた
ことはありますか。

ある

ない

iPS細胞は、体を構造するどんな
細胞にもなることができる特殊な
能力を持った細胞です。ノーベル
賞を受賞した京都大学の山中伸弥先生
が研究されています。

「拒絶反応が起こりにくいHLA型」を持つドナーさんの血液から、
iPS細胞を作製しストックする研究に、骨髄バンクも協力して
います。

「拒絶反応が起こりにくいHLA型」に該当した場合、iPS細胞の研究に
ご協力をお願いする手紙を送りたいと思っています。

ご協力いただけるようでしたら、【はい】にチェックを、そうでない場合
は【いいえ】にチェックをお願いいたします。

<表>

1

取扱厳重注意

骨髄バンクドナー登録申込書

私は、骨髄バンク登録のしおり「チャンス」をよく読み、以下
1.~9.の項目の内容について十分理解し了解しました。
私の健康状態は良好であり、骨髄バンクドナーとして
登録いたします。

1. (年齢・体重・健康状態・提供内容の理解)
2. 骨髄バンク事業を担う各機関と役割について (P.22-23)
3. 検査と検査検体の取り扱いについて (P.5)
(HLA型検査に遺伝子学的方法を用いることおよび検査終了後の検査用血液
(血液・DNA試料)の取り扱いについて)
4. 登録情報の管理について (P.23)
5. 登録確認書の送付について (P.20)
6. 登録情報の取り扱いについて (P.20)
※再生医療用iPS細胞ストックへの協力のために、個人情報を使用して
日本赤十字社から案内文書を送付させていただくことがあることを承知していただけますか。
はい いいえ
7. 献血者情報の利用について (P.20)
※献血経験者の方で、献血者情報を参照し「骨髄バンクドナー登録情報
(住所、氏名、電話番号)」を更新することを了承していただけますか。
はい いいえ
8. 登録後の連絡について (P.14・P.35)
9. 登録の保留・取り消しについて (P.14)

【ご記入日】 西暦 年 月 日

ご署名

後日登録手続きを行われる方へ(お願い)

1. 出来るだけ速やかな(本申込書受領後3か月以内を目途に)登録手続きをお願いします。
2. 登録窓口の受付曜日や時間帯はホームページでご確認ください。
3. 献血会場にご来場の際には必ずこの申込書をご持参ください。
4. この申込書の再発行はいたしません。

骨髄バンクに関するご質問は(公財)日本骨髄バンク
TEL 03-5280-1789(資料請求・問い合わせ専用) ホームページ <https://www.jmdp.or.jp/>

ドナー登録手続き③

日本赤十字社 造血幹細胞移植情報サービス

#つなげプロジェクトオレンジ 始動!!

プロジェクトオレンジとは、造血幹細胞ドナー登録と造血細胞提供の両面から、患者さんだけでなく、ご家族や友人、職場の仲間、ドナーさん自身のみなさまを巻き込んでみんなの力で造血幹細胞移植の希望者さんへの造血細胞提供を支援する活動です。造血細胞の提供は、造血幹細胞移植情報サービスを通じて行われます。造血細胞の提供は、造血幹細胞移植情報サービスを通じて行われます。造血細胞の提供は、造血幹細胞移植情報サービスを通じて行われます。

新プロジェクト始動!! #つなげプロジェクトオレンジとは、移植経験者の体験談

バンクNEWS Vol.63

造血幹細胞移植情報サービス

造血幹細胞移植情報サービス

適合通知はSMS(ショートメッセージサービス)でもお送りします

SMS 適合しました

適合通知はスマホで受信

速やかにご返信ください

造血幹細胞登録も簡単です

携帯電話の登録をしていない方、変更になった方は速やかにお手続きください

携帯電話番号、住所などの登録・変更方法

1. ウェブサイトで手続きする

2. 電話で手続きする

3. 郵送フォームで手続きする

ご注意事項

ご寄付のお願い

移植を待つ患者さんのお力をお貸しください

ご寄付は患者さんのために大切に扱われています

寄付には4つの方法があります

1. 郵便振替口座から銀行口座で寄付 (郵便振替口座)

2. 銀行振込で寄付

3. インターネット上で寄付 (クレジットカード・ネット銀行)

4. 口座振替で寄付 (口座振替)

造血幹細胞移植情報サービス

造血幹細胞移植情報サービス

バンクNEWS63号(抜粋)

寄付用紙

骨髓バンクニュースの送付は、住所確認の目的もあります。「宛先不明」で返送された場合、ドナー登録は保留となります。さらに2回返送された場合、『転居先不明』としてバンクニュースの発送が停止されます。

患者さんと適合しても連絡がつかず、コーディネートが終了になるドナーさんが大勢います。

特にお名前、ご住所に変更があった場合は、**ドナーカード裏面の「日本赤十字社ブロック血液センター」まで必ずご連絡をお願いします。**



))) 「造血幹細胞移植情報サービス」のホームページからも変更できます。

転居した場合は、必ず住所変更手続きをすよう強調してお伝えください

■ 7月と12月の年に2回、発行しています。

7月はSMS(ショートメッセージ)で12月は郵送でドナー登録者にご案内をしております。

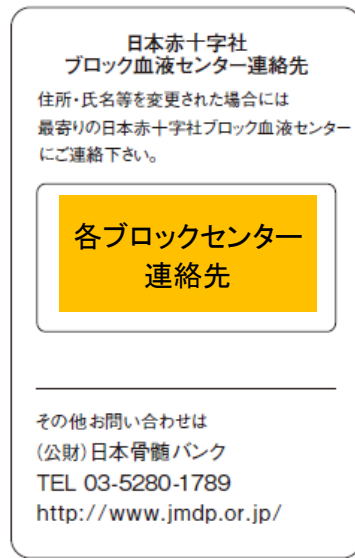
ドナー登録手続き④



<表>



<裏>



<(旧)裏>

【ドナーカード】

裏面のみ改訂(2023年12月下旬)。骨髄バンク公式LINEの友達追加の及び携帯・住所・氏名変更方法のQRコードなどを追加。

旧カードはなくなり次第順次差し換え。2024年4月1日完全移行を予定しています。必要に応じて請求をお願いします。



骨髄バンクのLINE公式アカウントがあります。定期的に患者さんからのメッセージや骨髄バンクの情報を発信しています。よろしければQRコードを読み込み、「友だち追加」をお願いします。

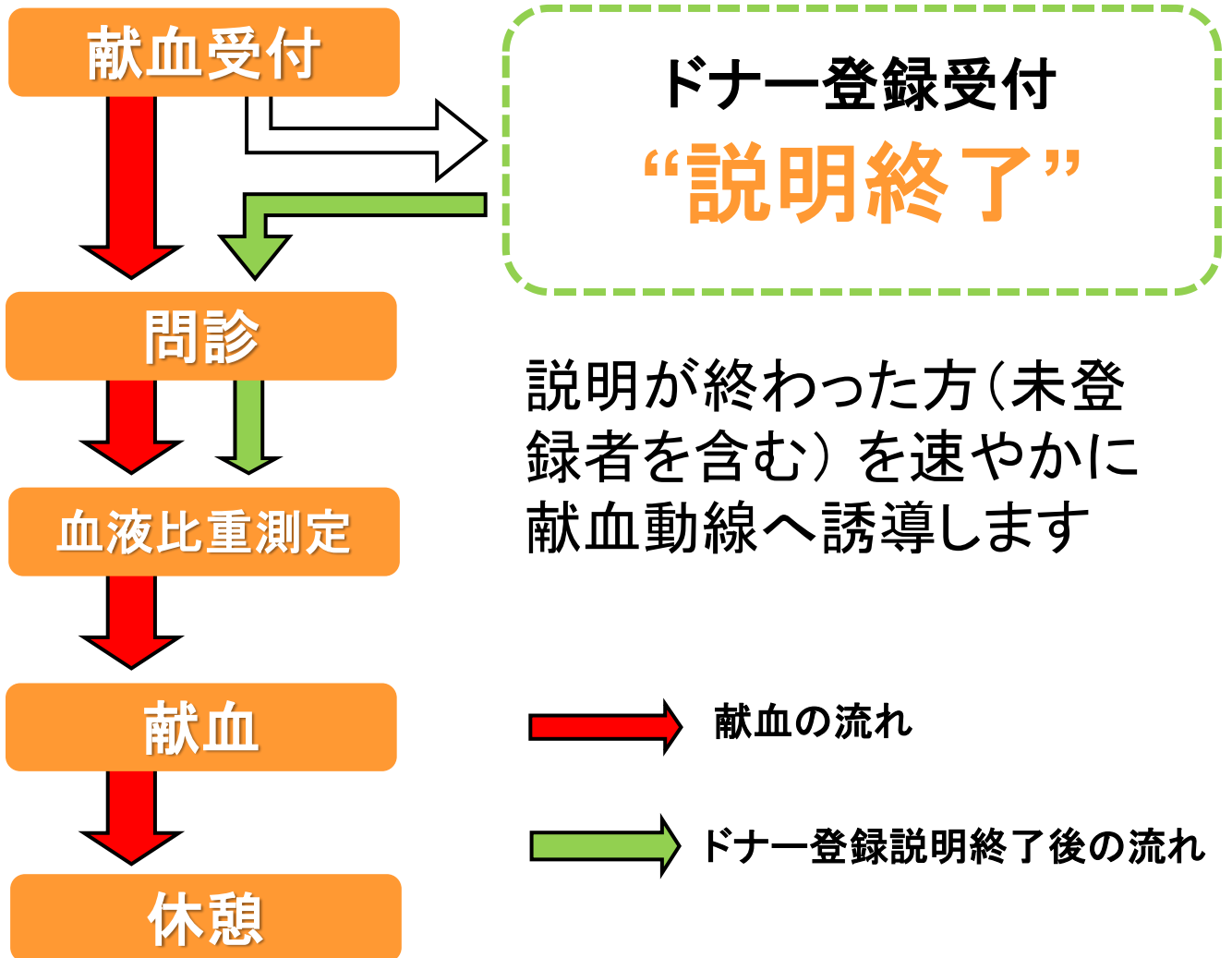
【友だち追加の方法】

- ① 新しいドナーカードの骨髄バンク公式LINE友達追加のQRコードをスマートフォンのカメラ機能で読込
- ② 表示されるURLを押し、「友だち追加」を選択
※旧ドナーカード(QRコード記載なし)しかない場合は、「公式LINEお友達登録用カード」をご活用ください

■ SNSを通じた、既登録者の提供意思の維持(ドナーリテンション)や、若年層の新規ドナー登録を促進するため、LINE骨髄バンク公式アカウントへの「お友だち登録」を勧奨します

■ 登録すると「ドナー登録のあれこれ」等のコンテンツが利用できます。また、定期的に情報が発信されるようになります

説明終了後



以上がドナー登録の流れです

令和5年(2023年)12月25日

第7版発行

発行：公益財団法人 日本骨髄バンク 広報渉外部
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-19
廣瀬第2ビル7F

TEL：03-5280-1789(平日9時～17時30分)

FAX：03-5280-0101

■本マニュアルは以下のURLからダウンロードしてご利用いただけます。

https://www.jmdp.or.jp/setsumeiin_info.html